デイドリーム

伊藤貴晴　作

【登場人物】

少女 アリス

黒子１ 帽子屋

黒子２ 犬

黒子３ 王子様

黒子４ サル

黒子５ おばあさん

【０】

 おはよう　こんにちは

 こんばんは　おやすみなさい

 はじめまして　ひさしぶり

 さようなら　また明日

 人の出会いは一期一会で

 あなたと私は一蓮托生

 そうじゃないかも前言撤回

 私の世界は五里霧中

 夢中になってることがあったり

 無限に続く時間があったり

 でもこの一瞬は取り返せない

 突然始まる白昼夢

 たとえば兎を追いかけて

 辿り着くのは桃源郷で

 天の川のほとりを歩いて

 銀河鉄道　出発進行

 今日も世界はくるくる回って

 宇宙はどんどん膨らんでいて

 私達は加速していて

 どこまで行くの？　どこまで行けるの？

 走って転んで泣いて立ち上がる

 歩き続ける歩みは止めない

 悩んで迷って大人になって

 変わらないけど変わり続ける

 スローモーションで越えていく

 大人と子供の境界線

 ストップモーションで振り返る

 私が幸せだった頃

 奇妙奇天烈　奇々怪々

 相対性理論　進化論

 夢と理想と科学を武器に

 私達は加速していく

【１】

 少女、登場。

少女 お昼寝をしてると、不思議な夢を見る。私はおとぎ話の登場人物になって、不思議な冒険をするの。お姫様になって王子様と結婚したり、お菓子の家に住んだり、魔法のじゅうたんに乗って空を飛んだりすることもあった。窓の外を見ると、白い犬が走っていく。私はこっそり家を抜け出して、白い犬を追いかけるの。どこから夢が始まるのか分からない。でもそれが私の夢の始まり。私の名前はアリス。十六歳の女の子

 少女、退場。

 黒子１・２・３・４・５、登場。

黒子３ 整列。番号

黒子１ 一

黒子２ 二

黒子３ 三

黒子４ 四

黒子５ 五

黒子３ よし、全員いるな

全員 はい

黒子３ ではこれから、「シンデレラ」を始めます

他 え？

黒子３ え？

黒子１ 「不思議の国のアリス」じゃないの？

黒子２ 「はなさかじいさん」じゃないの？

黒子４ 「さるかに合戦」じゃないの？

黒子５ 「桃太郎」じゃないの？

黒子３ え？　何だって？

黒子５ だから「桃太郎」でしょ

黒子３ 違うよ。「シンデレラ」だよ

黒子４ 「さるかに合戦」だろ

黒子１ 何でよ。そもそもあんた何？

黒子４ サル

黒子１ サル？　あんたは？

黒子２ 犬

黒子１ あんたは？

黒子３ 王子様

黒子１ あんたは？

黒子５ おばあさん

黒子１ 何でみんなバラバラなの？

黒子３ お前は何？

黒子１ 帽子屋

黒子２ 帽子屋って何？

黒子５ 帽子屋は「不思議の国のアリス」に出てくるの

黒子４ あー、犬とサルとキジが出てくる話だ

黒子１ それは「桃太郎」でしょ

黒子２ 「桃太郎」ってどんな話？

黒子４ 「桃太郎」は白い兎を追いかけていくうちに不思議の国に迷い込んでしまう話じゃなかったっけ

黒子１ それが「不思議の国のアリス」

黒子２ え、兎なの？

黒子５ そうだよ

黒子２ 犬じゃないの？

黒子１ そうだよ

黒子２ でも私は犬だよ

黒子５ あんた、その犬じゃないでしょ

黒子２ その犬ってどの犬？

黒子５ だから

黒子３ だから「シンデレラ」にしよう

黒子１ だからがつながってない

黒子４ 「シンデレラ」って毒リンゴ食べる話だっけ？

黒子５ それは「白雪姫」

黒子２ 「白雪姫」ってどんな話？

黒子１ 小人が出てくるんだよ

黒子３ そう、七人の子ヤギ

黒子２ 子ヤギ？

黒子１ 違う

黒子３ 子ヤギがオオカミに食べられてしまうんだ

黒子４ オオカミに食べられるのは「赤ずきん」じゃないの？

黒子５ オオカミは子ヤギだって赤ずきんだって食べちゃうよ

黒子２ それじゃあ七人の赤ずきんはどうなっちゃうの？

黒子１ 赤ずきんは七人もいない

黒子４ 赤ずきんは、おばあさんにリンゴを持っていくんだけど、実はそれが毒リンゴで

黒子５ それだとおばあさんが死んじゃうでしょ

黒子４ おばあさんは毒入りきびだんごで犬を毒殺してしまって

黒子２ え

黒子４ みんなで悪い王子様をやっつけました。めでたしめでたし

黒子３ ちょっと待て

黒子５ そんな話おかしいでしょ

黒子１ わけがわからない

黒子３ 何で王子様が悪い奴になってるの？

黒子４ あれ、違ったっけ？

黒子３ 違うだろ

黒子５ 私も悪役とか殺されるとか嫌なんだけど

黒子２ 何で私は殺されるの？

 少女、登場。

少女 見つけた、白い犬

黒子２ 見つかった

 黒子２、退場。

少女 待て

 少女、退場。

黒子５ アリスだ

黒子３ 追いかけろ

黒子４ ウキッ

黒子１ 打ち合わせ、まだ終わってないんだけど

 全員、退場。

【２】

 黒子５、登場。

黒子５ むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。すると川の上流から、大きな桃がどんぶらこ、どんぶらこと流れてきました。おばあさんは桃を家に持って帰りました。おじいさんと桃を割ってみると、中からかわいらしい女の子が出てきました。二人は女の子にアリスという名前をつけ、大事に育てました

 少女、登場。

少女 おばあさん

黒子５ おや、アリス。何をしてるんだい？

少女 ねえ、白い犬がこっちに来なかった？

黒子５ いや、来てないよ

少女 おかしいな。どこに行ったんだろう？

黒子５ どうしたの？

少女 犬が走っていったの

黒子５ そりゃ犬だから走るよ

少女 でも、二本の足で走っていったの

黒子５ 犬だって二本足で走りたいときもあるよ

少女 それに喋ってたよ

黒子５ 犬だって喋りたいときもあるよ

少女 変な犬

黒子５ ほら、あの犬じゃない？

 黒子２、登場。

少女 あ、見つけた

 少女、黒子２を捕まえる。

黒子２ ワンワン

少女 おばあさん、この犬だよ

黒子５ ああ、犬だね

黒子２ ワンワン

少女 知ってるの？

黒子５ 知ってるよ

少女 変な犬だね

黒子２ 変じゃないよ

少女 ほら、喋った

黒子２ 放してよ

少女 逃げちゃダメだよ

黒子２ 分かった

黒子５ じゃあアリス、この犬を連れて鬼ヶ島に行っておいで

少女 うん、分かった

黒子２ え？　鬼ヶ島？

黒子５ しっかり働くんだよ

黒子２ あ、結構急展開だね

少女 よろしくね

黒子２ 分かった

黒子５ じゃあこれをあげるよ

少女 これは何？

黒子５ きびだんごだよ

黒子２ きびだんごだ

少女 ありがとう

黒子５ じゃあ、がんばるんだよ

 黒子５、退場。

少女 私はこれから鬼ヶ島に行くのね

黒子２ そうだね

少女 そこで王子様と結婚するのね

黒子２ え？　何で？

少女 王子様と結婚できたら素敵だと思わない？

黒子２ そりゃ素敵だと思うけど

少女 シロ、きびだんご食べる？

黒子２ うん、食べる

 黒子２はきびだんごを食べる。

黒子２ めちゃくちゃまずいね、これ

少女 そうなの？

黒子２ 変な味がする

少女 ふーん

黒子２ これ、仲間にする人にあげるんだよね？

少女 そうだと思うよ

黒子２ こんなの食べて仲間になってくれるかな？

少女 シロは仲間になってくれないの？

黒子２ 俺は仲間になるよ

少女 じゃあ大丈夫

黒子２ 大丈夫かな？

少女 仲間にするならなるべく強そうな人がいいな

 黒子３、登場。

黒子３ やあ、僕が君の仲間だよ

少女 仲間にするならなるべく普通の人がいいな

黒子３ 待て待て。無視しないで

黒子２ あんた、何？

黒子３ 王子様だよ

少女 王子様？

黒子３ さあアリス、舞踏会に行こう

少女 連れて行ってくれるの？

黒子３ もちろんさ

少女 じゃあ行くわ

黒子２ え、鬼ヶ島に行くんじゃないの？

黒子３ え、そうなの？

少女 そうだよ、鬼ヶ島に行くんだよ

黒子 そう、僕のお城は鬼ヶ島にあるんだ

黒子２ え。本当に？

黒子３ さあ、鬼ヶ島に行こう

黒子２ 何か変だよ

黒子３ 変じゃない

少女 変だね

黒子３ 変か？

少女 あなた、本当に王子様？

黒子３ そうだよ

少女 王子様は仲間にならないはずだけど

黒子３ ならないの？

少女 うん

黒子３ 何が仲間になるの？　サルとキジ？

少女 ううん、キリン

黒子３ キリン？

少女 キリンがいい

 間。

黒子３ 本当はキリンなんだ

少女 え？

黒子３ 王子様に見えるけど本当はキリンなんだ

黒子２ どこが？

黒子３ キリンに見えない？

少女 見えない

黒子３ そんなことないよ。どう見てもキリンだろ

少女 首、長くないじゃん

黒子３ 首が長いだけがキリンだと思うなよ

少女 首が長くなきゃキリンじゃないでしょ

黒子２ 何でキリンなの？

少女 かわいいかなって思って

黒子２ おかしいよ

少女 うん、かわいくないもんね

黒子２ そういう問題なの？

少女 他にはいないの？

黒子３ いるよ

少女 何がいるの？

黒子３ 何がいいの？

少女 ペンギン

黒子２ ペンギン？

少女 ペンギンがいい

黒子３ よし、来い。ペンギン

 間。

黒子３ あれ？

黒子２ 来ないね

黒子３ おーい。ごはんだぞー

 黒子４、登場。

黒子４ ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん、ごっはん……ごはんは？

黒子３ 遅いぞ、馬鹿者

黒子４ 申し訳ありません

少女 ……ペンギン？

黒子３ ペンギンだよ

少女 どこが？

黒子３ どこがって、見たまんまだよ

黒子４ 質問があります

黒子３ 何だ

黒子４ 自分のごはんはどこにあるのでしょうか

黒子３ そんなものはない

黒子４ 了解しました

黒子２ 変なの

少女 こんなのペンギンじゃない

黒子３ そんなことないよ。ペンギンそのものだ。ほら、歩き方だって

 黒子４、ペンギンらしく歩く。

黒子３ ほら、ペンギンそっくりだ

少女 そっくりってことはペンギンじゃないってことでしょ

黒子３ じゃあ鳴いてみよう

 黒子３と黒子４は打ち合わせをする。

黒子４ ペンギン

少女 ペンギンはそんな風に鳴かない

黒子３ 俺達が君の仲間だ

少女 こんな仲間嫌だ

黒子３ さあ、鬼ヶ島に行こうじゃないか

少女 だから嫌だって言ってるじゃない

黒子４ 隊長

黒子３ 何だ？

黒子４ お腹が空いたであります

黒子３ 我慢しろ

黒子４ しかし、腹の虫が悲鳴を上げております

黒子３ どんな風にだ

黒子４ ペーン

黒子３ 泣くな、馬鹿者

黒子４ 申し訳ありません

黒子３ 貴様それでも軍人か

黒子４ 申し訳ありません

少女 じゃあこれあげる

黒子４ ありがとうございます

 黒子４、きびだんごを食べる。黒子４、叫んで倒れる。

黒子４ うあああああ

黒子３ しっかりしろ、おい、ペンギン、ペンギン

 間。

少女 死んだ？

黒子４ 私は一体

少女 何だ、死んでないのか

黒子４ 今、川の向こうで死んだじいさんが手振ってた

少女 そのまま渡ったら死んでたのにね

黒子２ いやいや、死んだら困るでしょ

黒子３ 何てことするんだよ

少女 別に何もしてないよ

黒子３ じゃあどうしてこんなことになるんだ

少女 知らない

黒子２ きびだんごはおばあさんがくれたんだよ

黒子３ おばあさん？

少女 私のおばあさん

黒子３ おのれババア

 黒子５、登場。

黒子５ ババアじゃないよ

少女 おばあさん

黒子３ 出たな、鬼婆

黒子５ 口のきき方に気をつけな、小僧

黒子２ どうしてここに？

黒子５ アリスにふさわしくない奴は、毒入りだんごでみんな殺してしまうのさ

黒子３ 何だって？

黒子２ おばあさん、キャラ変わったね

黒子５ 本当にアリスの仲間になれる者だけが、このだんごをおいしく食べることができる

黒子３ よし、いただこう

黒子２ え、大丈夫？

 黒子３、きびだんごを食べる。黒子３、叫んで倒れる。

黒子３ うあああああ

黒子２ あ、大丈夫じゃなかった

 黒子１、登場。

黒子１ 何やってるの？

黒子２ あ、帽子屋だ

黒子１ 心配で見に来たんだけど、心配した通りだった

少女 あなたは？

黒子１ 帽子屋だよ

少女 帽子屋さん、捕まえた

黒子１ え？

少女 今度は帽子屋さんが鬼ね。私、逃げるから捕まえてね

黒子１ え？

 少女、退場。

黒子２ あ、アリス。待ってよ

黒子４ アリスが逃げた

黒子３ 何だって？

 黒子２・３・４、退場。

黒子１ いつから鬼ごっこになったの？

黒子５ さあ？

黒子１ ま、いっか

黒子５ そうだ、このきびだんご食べてみて

黒子１ 毒入りじゃないの？

黒子５ これは大丈夫

黒子１ 本当に？

 黒子１はきびだんごを食べる。

黒子１ おいしい

黒子５ 本当に？

黒子１ うん

黒子５ ふーん

黒子１ 何？

黒子５ さ、アリスを捕まえに行こう

黒子１ ちょっと、何？　どういうこと？

 黒子１・５、退場。

 終わり。